

	A. 3階構成	B. 4階構成	C. 5階構成
配置ボリュームイメージ	<p>想定床面積14,000㎡÷3フロア≒1フロアあたり4,700㎡ →平面サイズの目安: 105m×45m(≒4,700㎡)</p> <p>▲ 来庁者出入口 △ 職員出入口</p> <p>学園通</p>	<p>想定床面積14,000㎡÷4フロア≒1フロアあたり3,500㎡ →平面サイズの目安: 78m×45m(≒3,500㎡)</p> <p>学園通</p>	<p>想定床面積14,000㎡÷5フロア≒1フロアあたり2,800㎡ →平面サイズの目安: 62m×45m(≒2,800㎡)</p> <p>学園通</p>
断面構成イメージ	<p>約15m</p>	<p>約20m</p>	<p>約25m</p>
周辺環境への影響	◎ ・低層のため日陰やビル風等が起きにくく、周辺環境に与える影響がより小さい	○ ・低層よりも高くなるが、敷地が広いため周辺に与える影響が小さい	△ ・高層のため、景観等周辺への影響が最も大きい
国道からの視認性	△ ・低層のため視認性が低い	○ ・周囲の建物よりも高くなるため、視認性が高い	◎ ・高層のため、視認性が高い
市民の利便性	◎ ・1階層に配置する部署を多くすることができるため上下の移動を抑制できる ・市民窓口を全て1階に集約することが可能	◎ ・1階層に配置する部署を多くすることができるため上下の移動を抑制できる ・市民窓口を全て1階に集約することが可能	△ ・1階層に配置する部署が少なくなるため上下の移動が増える ・市民窓口が複数階にまたがるため不便
職員の利便性	◎ ・関係部署が1階層に集約されているため連携が取りやすい	◎ ・関係部署が1階層に集約されているため連携が取りやすい	△ ・関係部署が複数階層にまたがるため、連携を取るには上下階の移動が必要
眺望	△ ・周囲の建物高さとの差がないため、眺望の良さは望めない	◎ ・周囲の建物より高さがあるため、眺望の良さが望める	◎ ・周囲の建物より高さがあるため、眺望の良さが望める
工期	◎ ・階数が少ないため工期は最も短い ・基礎面積が広いため4階建てより多少短くなる程度	○ ・3階建てより多少工期を要する	△ ・最も工期を要する
イニシャルコスト	△ ・1階面積が大きいため、掘削量・杭本数が増え、基礎工費が高くなる	○ ・3階建てより基礎工費が抑えられる	◎ ・1階面積が小さいため、掘削量・杭本数が少なく、基礎工費が抑えられる
省エネ・光熱費	◎ ・窓面積が少なくすむため、熱損失が小さく空調負荷が抑えられる	○ ・5階建てより窓面積が少ないため空調負荷が抑えられる	△ ・窓面積が大きくなるため、熱損失も大きくなり空調負荷が大きい
修繕費1(外壁)	◎ ・外壁面積が小さいため修繕費が抑えられる	○ ・5階建てより外壁面積は小さいため修繕費が抑えられる	△ ・外壁面積が最も大きくなるため修繕費が高くなる
修繕費2(屋上)	△ ・屋上面積が最も大きく修繕費が高い	○ ・3階建てより屋上面積が小さいため修繕費が抑えられる	◎ ・屋上面積が小さく修繕費を抑えられる
総合評価	○	◎	△